

ご家族・お友達をお誘いのうえ お気軽にご来館下さい。

「子どもの読書活動推進」および「こどもの読書週間」関連行事



「子どもの本とともに生きて」



名作ビデオ(DVD)上映会

講師：児童文学作家 ^{すえよし あきこ} 末吉 暁子氏

日時：4月28日(土)

日時：4月22日(日)

午前の部 10:30~

13:30~15:00

午後の部 14:00~

会場：4階 視聴覚ホール

会場：4階 視聴覚ホール

受講料：無料

作品：「いたちのこもりうた」(約19分 アニメ)

定員：200名(先着順)

「おにたのぼうし」(約18分 アニメ)

○申し込み方法

「しあわせの王子」(約19分 アニメ)

4月5日(木)9:30より電話にて受付

入場料：無料

○当日直接会場へ

文芸講座 全4回

「世界文学を通して見た日本文学の魅力」

講師：日本大学国際関係学部長 ^{さとう さぶろう} 佐藤 三武郎 教授

第1回 5月11日(金)「ギリシャ文学と日本文学—『オイディプス王』を中心に」

第2回 5月25日(金)「明治の文豪：島崎藤村—『破戒』を中心に」

第3回 6月 1日(金)「伊豆の文学：川端康成—『伊豆の踊子』を中心に」

第4回 6月 8日(金)「シェイクスピア：『ハムレット』と日本文学」

時間：いずれも18:30~20:00

○申し込み方法

会場：4階 視聴覚ホール

4月25日(水)9:30より

対象：高校生以上

電話にて受付

受講料：無料

定員：200名(先着順)

※駐車場に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください



図書館カレンダー



平成24年 4月

平成24年 5月

平成24年 6月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

■…休館日

開館時間

火・水・木
金
土・日・祝日・振替休日 ...

午前9時30分~午後6時30分
午前9時30分~午後9時
午前9時30分~午後5時

ベスト リーダー 2011



2011年1月から12月までの間に、多く貸出された一般図書の人気作品をご紹介します。

クイズ

問題：毎年人気の東野圭吾さんと並んで、今回7位になった作品は何でしょう？

ヒント：第5回ポプラ社小説大賞。著者の奥さんは歌手の〇〇。

答えは下に↓↓

	書名	著者／出版社／出版年月	利用回数
1	流星の絆	東野 圭吾 講談社 2008.3	160
2	1Q84 BOOK1	村上 春樹 新潮社 2009.5	157
3	1Q84 BOOK2	村上 春樹 新潮社 2009.5	155
4	告白	湊 かなえ 双葉社 2008.8	143
5	夜行観覧車	湊 かなえ 双葉社 2010.6	141
5	聖女の救済	東野 圭吾 文藝春秋 2008.10	141
7	カッコウの卵は誰のもの	東野 圭吾 光文社 2010.1	139
7	? ? ?	? ? ? ポプラ社 2010.12	139
7	容疑者Xの献身	東野 圭吾 文藝春秋 2005.8	139
10	1Q84 BOOK3	村上 春樹 新潮社 2010.4	136
11	新参者	東野 圭吾 講談社 2009.9	131
12	プラチナデータ	東野 圭吾 幻冬舎 2010.6	122
13	麒麟の翼	東野 圭吾 講談社 2011.3	121
14	もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら	岩崎 夏海 ダイヤモンド社 2009.12	115
15	小暮写真館	宮部 みゆき 講談社 2010.5	114
16	赤い指	東野 圭吾 講談社 2006.7	113
16	謎解きはディナーのあとで	東川 篤哉 小学館 2010.9	113
18	往復書簡	湊 かなえ 幻冬舎 2010.9	112
19	名もなき毒	宮部 みゆき 幻冬舎 2006.8	106
20	ガリレオの苦悩	東野 圭吾 文藝春秋 2008.10	105

本はともだち

④

大人になる前にぜひ、読んでおきたい本
～日本の物語～



今まで数回にわたって翻訳ものの物語をご紹介してきましたが、今回は日本人が書いた本をご紹介したいと思います。外国の物語は訳者によって趣きが変わることもありますが、日本語で書かれた日本が舞台の物語なので、言葉から情景を想像することも難しさは少ないかと思えます。

毎年、新しい本が数えきれないくらい出版されていますし、このごろのお子さんは、アニメ化されたり、映画化された本にどうしても関心がいきがちで、そういうなかで本を選ぶということが難しく思われることもあります。けれども、古くからある本には、やはり長い間多くの人々に支持され続けてきた良さがあるように感じます。今回ご紹介した本は、一番新しいものでも、出版されてから既に10年以上経っています。日本で長い間、読み続けられてきた本を、ぜひお子さんと一緒にお楽しみください。

ノンちゃん雲に乗る

石井 桃子／著 福音館書店

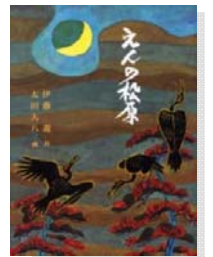
この物語が1947年に大地書房から発行されて、もう60年以上になります。現実の世界の出来事は黒い字で、ノンちゃんが雲の世界へ行ってからの出来事は青い字で印刷されています。停留所が停車場。クラス委員は級長など、少し古めかしい言葉はありますが、読みはじめると物語に引き込まれて気にならなくなります。単なるファンタジーにとどまらず、戦争前から戦争後を生きたノンちゃんという女の子の成長の物語だと思います。（対象：小学校高学年くらいから）



えんの松原

伊藤 遊／作 太田 大八／画 福音館書店

この物語は900年代半ばの日本が背景になっています。戦争がなく平和な世の中であるにもかかわらず、人々が必ずしも幸福でないのは現代の日本に通じるものがあるような気がします。そういう世の中でありながら、他の人の哀しみに敏感な少年達が主人公のこの物語。「起こってしまったことを、今さらもともどすことはできないけれど、もう悲しまないで」という言葉に胸をうたれます。（対象：小学校高学年くらいから）



きみはダックス先生がきらいか

灰谷 健次郎／さく 坪谷 令子／え 大日本図書

4年生になったリツコは「希望なんてなにもない」と思っていました。そのうえ、新しい担任の先生はまるでカバかダックスフントか…。給食にクジラの肉が出ていた頃のおはなしですが、今の子ども達にも充分伝わると思えます。ダックス先生が子ども達に教えてくれたものは「思いやり」「個性」「やさしさ」「助け合う心」などかと思われまます。（対象：小学校中学年くらいから）



かえるのエルタ

中川 李枝子／さく 大村 百合子／え 福音館書店

『ぐりとぐら』の著者と画家のコンビによる読みものですが、初版は1964年と半世紀を超えるロングセラー本です。ある日、かんたはかえるのおもちゃを道端で拾います。エルタと名前をつけて家の中に入れようとするとおかあさんに「だめ！」と言われます。そこでかんたはエルタを庭の草陰にかくします。すると…。（対象：『ぐりとぐら』を卒業した小学校低学年くらいから）



ご紹介した本のほかにも、良い本がたくさんあります。一生、心に残るような本に、たくさん出会えるようにお手伝いします。ぜひ、児童カウンターでご相談ください。

春の行事について調べてみました

～レファレンスコーナー～

寒かった冬も終わり春がやってきました。そこで今回は春に関係する事柄について調べてみました。

お花見

毎年、春になるとお花見がおこなわれます。昔は、厄をはらいに山野に出かける風習がありました。桜の開花ぐあいを見てその年の作柄を占ったともいわれ当時は豊作を願う祈りの行事の1つでした。



時が移り、奈良・平安時代には、貴族たちがおこなっていたものが、江戸時代には大名も町人も、花見弁当や酒をもって山へ繰り出すようになりました。全国各地に人の手による桜の名所がたくさんつくられ今日までいたっています。私たちの住む沼津でも、香貫山、門池、国道1号線沿いの今沢から原にかけて、桜並木を見ることができます。

花祭り

これは、正式には灌仏会(かんぶつえ)といいます。4月8日のお釈迦様の誕生を祝う記念日です。別名として、降誕会(ごうだんえ)、仏生会(ぶつしょうえ)、浴仏会(よくぶつえ)の別名もあります。

寺院ではお釈迦様が生まれた①ルンビニの花園をあらわした花御堂(はなみどう)が作られ、参拝者は、中に安置された誕生仏に②甘茶をかけてお祝いします。この甘茶をかけるのは、お釈迦様の誕生日に、③九頭竜(くずりゅう)が天から清浄の水を注ぎかけたという伝説にちなんだものだそうです。

※①現在のネパール南部にある釈迦が誕生されたとする村。

※②アマチャ(ガクアジサイの変種)の葉を日干しにしてそれを煎じた甘い飲み物。

※③一つの身体に9つの頭をもつ想像上のいきもの。密教を守護する神。

出典 『くらしの歳時記』主婦の友社
『日本の民俗』吉川弘文館



みなさんも、調べごとがありましたら、ぜひ図書館のレファレンスサービスをご利用ください。ご来館をお待ちしています。



『図書館からのお願い』

図書館の本はみんなのものです。借りたい本が返却されるのを楽しみにしている人たちがたくさんいます。

みなさん、本の返却期日は必ず守りましょう！